

郷土教育

【部の育教土郷】

(1)

著者	書名	型・定價	内容大意
東京帝大教授 文學博士 入澤宗壽著	新郷土教育原論	菊判全一冊 價四・〇〇	▲簇出せる郷土教育書が郷土教育の眞義に徹しなないものあるを遺憾とし、之を是正すべく執筆されしもの、斯界の最高指標
東京帝大教授 文學博士 入澤宗壽著	新郷土教育各論	菊判全一冊 價四・五〇	▲前著の姉妹篇、各教科に互り詳細研究す郷土教育より見たる各科の本質と指導要項説く所適切・闡明・斯界の名著
和歌山縣師範學校 附屬小學校編纂	新郷土教育の實際	只判全一冊 價二・九〇	▲新郷土教育の意義を闡明し基礎的施設を詳述す、又新郷土教育の原理に照らして各教科の本質と其の取扱を審にす
滋賀縣 小學校編纂	郷土教育の學習と實踐	只判全一冊 價二・六〇	▲郷土教育の發祥地として自他共に許す滋賀縣島小學校の尊き體験的記錄 ▲愛と熱と信念に生きる典型的實踐
滋賀縣 小學校編纂	郷土の調査及研究 各教科郷土化の實際	只判全一冊 價二・六〇	▲郷土に立脚せる綜合教育實施の實際 ▲各教科の郷土的な研究は素より社會教化の方面にも斷然異彩を放つ
神奈川縣田島 體験學校長 山崎博著	新時代の郷土教育	只判全一冊 價二・四〇	▲文化創造と文化轉換、郷土教育の體系 ▲生活科の特設を強調し各教科の郷土化を力説せる新教育の獅子吼
神奈川縣田島 體験學校長 山崎博著	郷土教育の再吟味	只判全一冊 價二・八〇	▲郷土教育に關する大家の批判を掲げ、郷土教育の根本原理を明示す ▲郷土教育により學校經營各學年學級經營
滋賀縣 小學校編纂	自力更生 理想郷の新建設	只判全一冊 價三・二〇	▲學校教育を中心として自力更生を熱願す ▲窮迫せる農村に立つ血みどろな學校經營 ▲不拔の卓見と不折の努力に成る調査施設

【部の養修想思】

川崎市特小 校長 山崎 博著	三重縣花岡高等 公民學校校長 城五平著	教務研究會代表者 友納友次郎著	東京高師 佐藤末吉共著 縮貫數夫共著	東京高師 佐藤末吉共著 線貫數夫共著	東京女高師訓導 大矢正奇著	臺中師範前主事 三木英太郎著	臺中師範前主事 三木英太郎著	臺中師範前主事 三木英太郎著	臺中師範前主事 三木英太郎著	臺中師範前主事 三木英太郎著
校長事務統制の新研究	勤務教育 小學校勞作園の經營	校長校務の形態と其の合理化	體尋一學級教育經營	體尋二學級教育經營	活用新學級經營簿	生命實踐 復式教育	生命實踐 復式教育	生命實踐 復式教育	生命實踐 復式教育	生命實踐 復式教育
價三・五〇	價一・六〇	價四・八〇	價二・八〇	價二・九〇	價二・八〇	價二・八〇	價二・八〇	價二・六〇	價二・六〇	價二・六〇
▲書き體験と研究に基き、教育計畫・教授・訓練・養護の經營と統整は勿論、教育勤務、文書整理、事務進捗に就いても詳述	▲「結果尊重の學校園より過程重視の學校園に」を眼目とし、學校勞作園と中庭勞作園に分ち植分栽培園・動物飼育園を迄細述	▲四月より翌年三月に至る順序に「校務と行事」を月日を追つて詳説し法規の必要なるものはその條章を引用解説す、活用至便。	▲「児童を試験室にしてはすまぬ。」との序文に見る如く、定に児童愛にも責任感に徹せる兩氏の理想的經營記録である。	▲前著の續篇、前著と共に該學年經營につき四月より各月別に一、訓育二、教科、三、體育に分ち最も詳細に述べたるもの各擔任の絶	▲著者十有八年學級經營の研究に没頭し成案を得たる理想的の學級經營簿。六十人の學級にて尋一より尋六迄本書一冊にて足る	▲さきに臺中師範主事たり又復式教育に造詣深き三木先生が蘊著を傾けし連續五冊の力著はこれ	▲複式教育の本質と價值とを叙べてその獨自性を強調。複式教育の經營方針・編成・指導原理指導様式細述	▲複式教育上各學級の特質と重點を明記す	▲各學年各學級實際指導の主要點を詳説す	▲各教科の本質を糾して詳細なる各學級の教授細目及各教科指導案多數を掲ぐ

【部の養修想思】

臺中師範前主事 三木英太郎著	東京外國語學校 藤井 章著	東京文理科大学倫 理學研究室文學士 大杉謹一著	文學士 木下一雄著	東京帝大教授 文學博士 深澤安文著	廣島高師教授 文學博士 清原貞雄著	東京文學大助教授 文學博士 荻原 擴著	東京女高師教授 文學士 金子彦二郎著				
進生命 高一・二の復式教育	實踐 道德 概論	現代の國民道德	新倫理學 概論	思想 と 日本	日本國民の精神	日本精神説の批判	日本國民性の實證的研究				
價二・六〇	價二・三〇	價二・二〇	價二・六〇	價四・二〇	價二・四〇	價二・六〇	價二・八〇				
▲あらゆる新教育説を取入れて新時代に於ける復式教育の先驅を試みる斯界の最高權威著たり	▲「倫理及哲學の諸問題」の姉妹篇なり	▲家族生活と國家生活との聯關的機軸を説く	▲國民道德に關する諸家の意見を參酌しこれが意義を明確にし、更に進んで國民道德の本質及びその諸要素に迄説き及べり	▲倫理學の意義を述べ、究意價值としての諸道德規空を鮮明にす	▲附篇にカント哲學を詳述し研究に利せしむ	▲現代思想の批判・日本精神の闡明・神道の詳説・道德的歸趨の嚴示かくて新日本教育の根柢を培ふ、非常時救國の寶典	▲著者清原博士は日本精神研究の最高權威	▲非常時日本の情勢愈々深刻ならんとするの時、眞乎日本精神の精神を促へたる名著	▲諸家の日本精神説を批判して快力亂麻を斷つが如し	▲最近の社會問題を捉へて理的に論斷す	▲夢國熱情の著者が、全世界に冠絶せる我が國民性の精彩を幾多の實例に徴し以て熾烈なる祖國愛をそゝる心血の熱著!

思想・修養

【部 の 身 修】

著 者	書 名	型・定價	内 容 大 意
加藤咄堂著	新社會教育講演資料	菊判全一冊 價四・二〇	▲ラヂオに講演に著者の名は餘りにも高い。本書は著者獨得の雄辯に多大の感動を與へし社會教育講演の數々を載録せる名篇。
修身 (其一 理論及實際)			
奈良女高師訓導 岩瀬六郎著	生活修身原論	菊判全一冊 價四・五〇	▲新道徳觀と生活修身、生活教育の原理と生活修身、徳目修身の檢討と生活修身、指導の具體的事例等卓見多し。
東京女高師訓導 兼教諭 澁谷義夫著	現代の修身教育	菊判全一冊 價五・五〇	▲學校教育、社會教育、宗教教育に從事せる人々に、國民的の信念を確立し、金剛不壞の道徳を樹立せしむる斯界の羅針盤。
東京女高師訓導 兼教諭 澁谷義夫著	修身徳目教授の系統案	菊判全一冊 價三・〇〇	▲作業主義修身教育の指高調 ▲徳目教授の理想的系統案として條理整然且學徒指導に大なるヒントを與ふ。
東京高師主事 佐々木秀一著	道徳教育の諸問題	菊判全一冊 價四・五〇	▲佐々木先生が外遊を機として道徳教育の革新を痛感し其卓見を披瀝せられし熱著 ▲道徳教育上の諸問題を批判解決せる名著
東京府豊島師範 附屬小學校編著	修身書の縦の研究	菊判全一冊 價三・五〇	▲生活環境による各課目の分類としての縦貫的聯繫の密接、道徳生活の徹底的調査 ▲各教材の考察補充、指導要點の精説
徳島縣師範前訓導 安部清見著	修身教育指導原理と様式	菊判全一冊 價二・九〇	▲右書の姉妹篇、道徳指導各種様式を評記 ▲日本精神發揚に基く訓練の實際に就き確信ある研究を發表す
奈良縣女子師範 主事 田尻潤逸著	小學校に於ける私の修身教育	菊判全一冊 價二・九〇	▲修身教育の現狀に慄らず、其の革新を目指して起つ斯界の警鐘 ▲各學年各教材主眼點の研究は精細を極む

【部 の 身 修】

著 者	書 名	型・定價	内 容 大 意
鳥根縣女子師範主事 津田萬夫著	國本修身教育の新機構	菊判全一冊 價二・六〇	▲眞摯なる研鑽家として、斯界に塵望高き津田主事が、國本培養の眞義に立つて修身教育の精髓を熱述せる名著。
東京高師訓導 熊井甚太郎著	生活指導の修身教育	菊判全一冊 價三・八〇	▲現狀の修身教育に慄らず、生活指導の修身教育道を新たに開拓し、時代に觸れ社會に生き、兒童に即しつゝ眞の全人陶冶をなす
修身 (其二 教科書解説)			
靜岡師範主事 市村清次郎著	新修身書解説 第一	菊判全一冊 價各二・六〇	▲各課教材に關し現代生活に即して深遠なる題材觀乃至道義觀を精説す ▲指導要項並に指導過程を明にして生活指導の眞諦とその具體化を説く ▲例話並に之に關聯せる事項の解説には懇切丁寧を極め尙補充例話も頗る多し
靜岡師範主事 市村清次郎著	新修身書解説 第三	菊判全一冊 價二・九〇	
靜岡師範主事 市村清次郎著	新修身書解説 第四	菊判全一冊 價二・九〇	
東京高師訓導 熊井甚太郎著	新修身書の指導精神 第一	菊判全一冊 價二・七〇	
東京高師訓導 熊井甚太郎著	新修身書の指導精神 第二	菊判全一冊 價二・七〇	▲新訂教科書準備 ▲第一兒童の眞生活を凝視し、その徳育指導の大方針を確立して立論する所に磐石
奈良女高師訓導 岩瀬六郎著	新定修身書精説 第一	菊判全一冊 價各二・五〇	▲各課に就き指導目的、教材考察、兒童考察、指導計畫、指導過程、參考資料の六項目に分ち詳解精説至らざるなし ▲新訂教科書準備 ▲生活指導の修身教育を強調せる著者が新修

【部の練訓】

著者	書名	型・定價	内容大意
文部省補習 教育主事 松本喜一著	現代公民的訓練の指導法	判全一冊 價二・五〇	▲公民教材三十八課を解説し、實際生活の指導要諦二十項目を詳述す ▲各國の實例をあげ、公民訓練の基本を詳説す
文部省社會教育官 水野常吉著	児童生徒の職業指導法	判全一冊 價三・五〇	▲職業及個性の眞義を明示し、職業指導の要諦を述べ、且職業指導の具體案と社會の實相を細叙せり
横浜市兒童研究所 職員 佐々木高尚著	街頭へ職業指導の體驗	判全一冊 價二・二〇	▲児童をして在學中夏期休暇を利用して商店に於て職業體驗を得しめ、これに基き職業指導をなし、實績を挙げたる體驗を述べし力著
友納友次郎著	新講話資料大成	菊判全一冊 價六・八〇	▲訓練資料として美談逸話あり、祝祭記念日に關しては原據及重要な注意を示す ▲一年を通じて毎日適切有効なる說話を掲ぐ
東京高師前訓導 相島・宮部共著	修・祝祭日及び講堂訓話資料	菊判全一冊 價四・五〇	▲國家的祝祭日國民的記念日の由來と式次第の生命に富める、講話の多趣味多様な兒童の生命に即せる、實に類書中の白眉
文學士 大澤作次著	新時代の訓示講大系	菊判全一冊 價四・五〇	▲學校生活社會生活中の目星しきものに關し、訓切なる指導要項と注意事項を詳記す ▲訓話、講話、訓辭、式辭、祝辭、答辭、挨拶等
東京帝大教授 入澤宗壽共著	小學校行事の研究	判全一冊 價三・〇〇	▲國民的學校行事の解説と其の實際的施設を配して興味深く感激を呼ぶこと大
文學士 大澤・福田共著	新訓の練理論及實際	判全一冊 價二・九〇	▲訓練の任務を説き、新訓練の指針を示す ▲學校訓練の施設經營と實際的指導を述べ、團體的訓練、作業的訓練、學級訓練等々

訓練

【部の練訓】

著者	書名	型・定價	内容大意
德島女子職業 學校長 安部清見著	郷土を中心としたる行事教育の實際	判全一冊 價三・〇〇	▲郷土行事の實際と由來を詳述、趣味多し ▲施設と指導の着眼點、計畫、實際例、參考資料、實話、講話等充全を極む
東京高師訓導 廣瀬清著	高學年兒童道德的訓練の實際	判全一冊 價三・〇〇	▲兒童訓育に關する著者多年の體驗をまとめし「教へざる教育と訓育」これを根柢となす
東京府豊島區範 訓導 喜多村・鷺山著	小學校訓育と實踐指導	判全一冊 價二・九〇	▲新訓練の本質を明かにし、日本精神・協同・自治等の訓練要諦を詳説して餘蘊なし ▲各學年の訓育系統と實際指導を精叙す
奈良女高師訓導 岩瀬六郎著	生活訓練原論	菊判全一冊 價三・八〇	▲生活訓練の史的考察より本質論、方法論、實施系統案に至る迄餘す所なく詳論す ▲特に訓練の根本的原則をも究明せる力著
上沼久之丞共著 山崎・鈴木著	新揭示教育資料	判全一冊 價二・八〇	▲從來の揭示教育が形式的・皮相的なることを痛感せる著者が揭示教育の眞使命を見極め、理想的資料を蒐集、排列せるもの
佐々木秀一序 鷺山重雄著	小學校最新作法教育の實踐	判全一冊 價二・九〇	▲文部省小學校作法指導要項に緊密なる聯繫を取り、現在の國民禮法を統一し將來に於ける日本國民禮法の確立を企念せり
德島女子職業 學校長 安部・平澤共著	時代の小學校作法教育案	判全一冊 價二・四〇	▲作法の眞精神を説き、模を具體的に開明すして、作法教材の排列は勿論、其の指導方法に關しては詳細に説述す
佐々木秀一序 鷺山重雄著	低學年の實踐訓育	判全一冊 價二・八〇	▲本書は從來の偏習教育を排し、低學年に於ける訓育と體育を重視せる綜合的教育實踐案であり、低學年訓育の實踐指導書である
宮崎縣師範學校 主事 玉木俊雄著	國民教育の反省と訓育	判全一冊 價二・〇〇	▲國民教育の研究に日夜没頭せる著者がその教育的體驗を反省し、訓育に結び之を基礎として新教育意見を確立せし苦心の著
島根縣師範學校 主事 津田萬夫共著	全體觀的學童訓練の理論と實際	判全一冊 價二・〇〇	▲具體的全體觀に立つて「全」的性格陶冶への究明と實踐とによつて「教育即訓練」ならざるべからざることを強調す

國語學・文學

著者	書名	型・定價	内容大意
東京高師教授 神保格著	話言葉の研究と實際	菊判全一冊 價三・二〇	▲國語教育が兎角文字文章のみに走れるを遺憾とし、國語の根柢たる言葉に付學年の研究を國語に即し纏めたる著書
東京高師教授 神保格著	新國語音聲學	菊判全一冊 價二・九〇	▲音聲學の泰斗神保先生が快心の名著▲音聲の本質音節、アクセントの深研究▲音聲の國際にも及ぶ國語教育の基礎
駒澤大學教授 石黑魯平著	國語教育の基礎としての言語學	菊判全一冊 價二・九〇	▲言語研究・音韻論・文法的變化・語彙研究と重要問題に亘る卓見多し▲意義論・分化と統一標準語運動文字論など
友納友次郎著	國語教育の標準語法	菊判全一冊 價五・〇〇	▲標準語法につきて詳説、引例も又豊富▲標準語法に基きて編纂されたる現教科書を研究するもの、無二の指指
文學士 今泉浦治郎著	國語教育の礎石 言語の本資及機能	菊判全一冊 價二・九〇	▲思想と言語との魔力、指標地位、象徴化の公準、意味の意義、象徴地位等言語の本質に關し卓見を叙ぶ
文部省圖書監修官 井上尅著	印象 祖國を出でて	菊判全一冊 價五・五〇	▲著者は新小學國語讀本の編纂官なり▲讀本改正に先立ち歐米小學讀本研究に渡歐された際の歐米文化紹介にて行文流麗
文學士 今泉浦治郎著	國語教育の根本原理 思想の生立と推理の諸相	菊判全一冊 價三・五〇	▲思想の生立を検討し、言語の本質を極む▲推理の諸相と作用を詳解して國語教育の根本原理を示せる近來の名著

263
364

終

